

2011年度

科目名	日本語音声学			
担当教員	増田 正子			
配当	教福2		コード	22038
開期	通年	講時	火曜日2限	単位数 4
授業テーマ	日本語音声のしくみを考える。			
目的と概要	日本語の音声・音韻の概略と特色を、日常のさまざまな疑問に答える形で考えていく。前半は、音声学の基本的事項を理解しその上で、日本語の母音・子音、さまざまな音声現象について具体例を通して明らかにしていく。後半は、音韻の変化、アクセント、イントネーション、地域語等について考える。演習を行う予定。			
成績評価法	前期 記述試験、40% 後期 演習発表 30%、小課題 30%によって評価する。			
テキスト	基本的にはプリントを配布する。			
参考書	適宜紹介する。			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	日本語の音声について関心を持つこと。 予習・復習に努めること。演習については積極的態度が望まれる。			
講義計画				
1. 人間の言語の特質、言語の機能、言語行動と非言語行動について 2. 音声と音韻、音韻の単位、分類 3. 日本語の音韻の特色 4. 日本語の母音 5. 日本語の子音（1） 6. 日本語の子音（2） 7. 日本語の子音（3） 8. 日本語の子音（4） 9. 拍の構造、特殊拍について 10. 音韻の変化と変遷（1） 11. 音韻の変化と変遷（2） 12. 音韻の変化と変遷（3） 13. 母語別日本語学習者の発音の特徴 1 14. 母語別日本語学習者の発音の特徴 2 15. まとめ（前期） 16. 日本語のアクセント（1） 17. 日本語のアクセント（2） 18. 日本語のアクセント（3） 19. 日本語のアクセント（4） 20. 日本語のアクセント（5） 21. 日本語のイントネーション・プロミネンス等（1） 22. 日本語のイントネーション・プロミネンス等（2） 23. さまざまな音声現象についての疑問と解明（1） 24. さまざまな音声現象についての疑問と解明（2） 25. さまざまな音声現象についての疑問と解明（3） 26. さまざまな音声現象についての疑問と解明（4） 27. さまざまな音声現象についての疑問と解明（5） 28. 日本語の音韻の歴史（1） 29. 日本語の音韻の歴史（2） 30. まとめ				